

中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和6年度第1四半期（令和6年4月～6月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：146企業

（製造業：28社 建設業：20社 小売業：40社 サービス業：58社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ~30.1	 晴 30.0 ~10.1	 薄曇り 10.0 ~▲10.0	 曇り ▲10.1 ~▲30.0	 雨 ▲30.1~
---	--	---	---	---

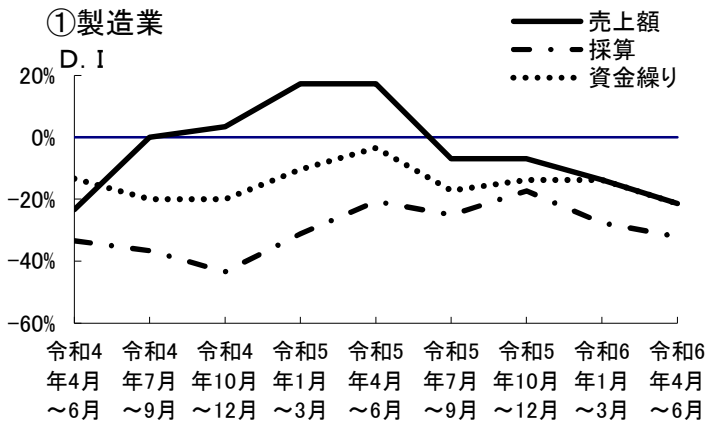
1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和4年 4～6月期	 ▲ 13.3	 ▲ 25.0	 ▲ 51.2	 ▲ 21.4	 ▲ 27.7					
令和4年 7～9月期	 ▲ 13.4	 ▲ 10.0	 ▲ 57.1	 ▲ 22.8	 ▲ 25.8						
令和4年 10～12月期	 ▲ 23.3	 ▲ 5.0	 ▲ 45.2	 ▲ 29.3	 ▲ 25.7						
令和5年 1～3月期	 ▲ 10.4	 ▲ 35.0	 ▲ 39.5	 ▲ 22.4	 ▲ 26.8						
令和5年 4～6月期	 0.0	 ▲ 10.0	 ▲ 41.5	 ▲ 1.7	 ▲ 13.3						
令和5年 7～9月期	 ▲ 20.7	 ▲ 10.0	 ▲ 40.5	 ▲ 5.1	 ▲ 19.1						
令和5年 10～12月期	 ▲ 10.7	 ▲ 20.0	 ▲ 45.2	 ▲ 15.2	 ▲ 22.8						
令和6年 1～3月期	 ▲ 20.7	 ▲ 20.0	 ▲ 45.2	 ▲ 19.3	 ▲ 26.3						
令和6年 4～6月期	 ▲ 10.8	 ▲ 15.0	 ▲ 36.8	 ▲ 8.7	 ▲ 17.8						
令和6年 7～9月期	 ▲ 7.2	 ▲ 10.0	 ▲ 34.2	 ▲ 12.1	 ▲ 15.9						

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2.業種別景気動向

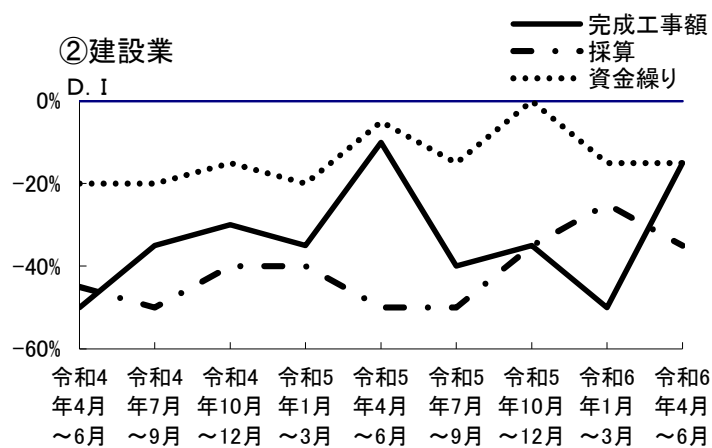


<前期比>

売上額 : やや悪化 (▲13.8→▲21.4 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲27.6→▲32.1 ポイント)
 資金繰り : やや悪化 (▲13.8→▲21.4 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位: 原材料価格の上昇 (34.6%)
 2位: 従業員の確保難 (26.9%)

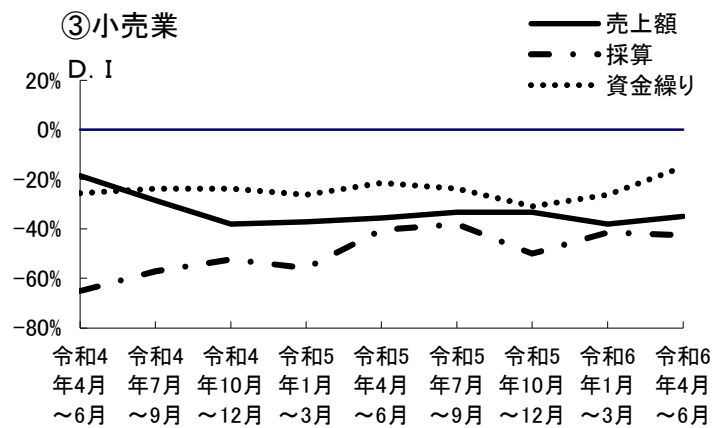


<前期比>

完成工事額: 大幅好転 (▲50.0→▲15.0 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲25.0→▲35.0 ポイント)
 資金繰り : 横ばい (▲15.0→▲15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位: 材料価格の上昇 (38.9%)
 2位: 材料費・人件費以外の経費の増加 (16.7%)

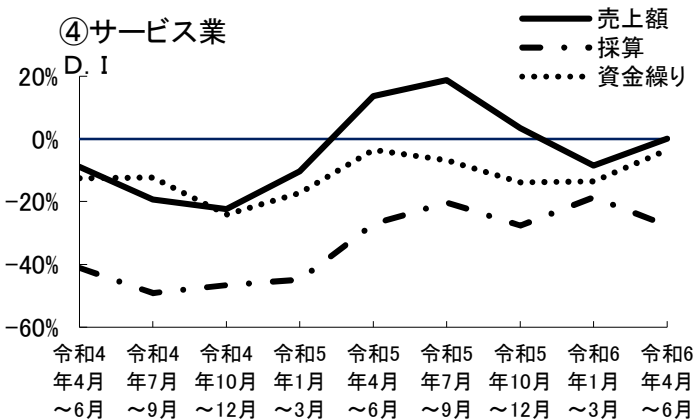


<前期比>

売上額 : やや好転 (▲38.1→▲35.0 ポイント)
 採算 : ほぼ横ばい (▲41.5→▲42.5 ポイント)
 資金繰り : 好転 (▲26.2→▲15.0 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位: 仕入単価の上昇 (30.6%)
 2位: 大型店・中型店の進出による競争の激化、
 購買力の他地域への流出 (16.7%)



<前期比>

売上額 : やや好転 (▲8.5 → 0.0 ポイント)
 採算 : やや悪化 (▲18.6→▲27.6 ポイント)
 資金繰り : やや好転 (▲13.5→▲3.5 ポイント)

<経営上の問題点> (順位と比率)

1位: 材料等仕入単価の上昇 (41.7%)
 2位: 従業員の確保難 (18.8%)